

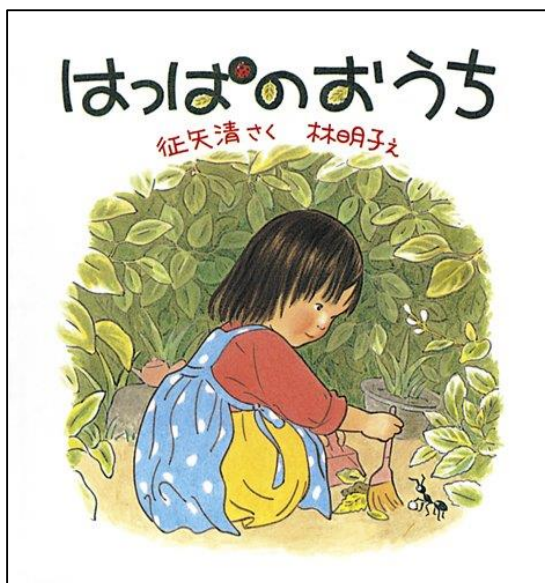


# チャイルズタイムス

～みのがせないしんぶん～

2023 年 4 月

No. 367



さちがにわであそんでいると、ぽつぽつ<sup>あめ</sup>雨がふってきました。さちはいそいで、はっぱのおうちにかくれます。はっぱのおうちは、いいおうち。雨だってへっちゃらです。

ところが、そこにかくれていたのは、さちだけではありませんでした！ みどりにかこまれたにぎやかな<sup>あま</sup>雨やどりを、のそいてみませんか？

えほん E／ベビー／チャ

『はっぱのおうち』

征矢 清／作 林 明子／絵 福音館書店

とくしゅう  
◆特集 みどりの本

しんちゃくぼん  
◆新着本コーナー



はっこう：さがみおおのとしょかん

でんわ：042-749-2244

# みどりの本



かたばみのはっぱは、ちいさなハートがみつ。あさになるとひらいて、よるになるとはっぱをとじて休めます。かたばみは背が低いので、かげにならないところを見つけて咲いています。

みんなのちかくにもきつとあるので、この本を見て探してみてね。

えほん E

『ハートののはっぱかたばみ』

多田 多恵子／文 広野 多珂子／絵 福音館書店



ある日、おうちのプランターにしろな草を見つけた太郎くん。なんという名前なのか、おじいちゃんに電話で聞いてみることにしました。すると、その草のことを3つ教えてくれたらわかるよ、とおじいちゃんはいいます。さて、草の名前はなんでしょう？



えほん E/な

『ぼくの草のなまえ』

長尾 玲子／作 福音館書店



こうさぎがのはらにやってきて、お鼻をふんふんふん。においをたどって小さなお花を見つけました。そこに、こだぬきの兄弟もやってきて……。みどりあふれる春にピッタリなかみしばいです。

かみしばい C

『のはらにね』

ひろかわ さえこ／脚本・絵 童心社



エスディー・ジーズ S D G sは、「持続可能な開発目標」を略したもの。世界中のさまざまな問題を解決するために決められた17個の目標のことです。その15個目が「陸の豊かさを守ろう」になります。

えほん E/そらいろ/ちしき

『ソウの森とポテトチップス』

横塚 眞己人／写真と文 そうえん社



ロージーは、夏休みにばあばのところにいくのが楽しみ。ばあばの庭<sup>にわ</sup>は花でいっぱい。ロージーは夏休みの間、スズランの花束<sup>はなたば</sup>をプレゼントしたり、バラで香水<sup>こうすい</sup>やポプリを作ったり、ハーブをお風呂にいれたりして、楽しくすごします。



えほん E/い

『ロージーの庭』

市川 里美/絵 エリザベス・レアード/文  
坂崎 麻子/訳 リプロポート



ねぎのふえ、花びらのふえ、ささふえ、どんぐりふえ……。いろいろな草のふえをならしたら、なんだかふしぎなことがおこります。みじかいおはなしをあつめた本で、とってもよみやすいですよ。

ものがたり J913/ハ

『草のふえをならしたら』

林原 玉枝/作 竹上 妙/画 福音館書店



植物<sup>しよくぶつ</sup>の仕組み<sup>しく</sup>がかわいらしいイラストで分かりやすい！

ほかにも、光合成<sup>こうごうせい</sup>の実験装置<sup>じっけんそうち</sup>やコンスターチのスライム、それにジャガイモ電池<sup>かつかうほうぼう</sup>のつくり方などもっていて、楽しい植物<sup>しよくぶつ</sup>の活用方法<sup>かつようほうほう</sup>が分かります。

ちしき J47

『朝ごはんは、お日さまの光！植物のはなし』

マイケル・ホランド/文 フィリップ・ジョルダーノ/絵  
徳間書店児童書編集部/訳 徳間書店



ソウを探<sup>さが</sup>しにボルネオ島<sup>とう</sup>へ行った作者<sup>さくしや</sup>。ソウには会えましたが、ガイドさんの「森<sup>もり</sup>がへっている」という言葉<sup>ことば</sup>が気になり、島の状<sup>しやう</sup>況<sup>きやう</sup>を調べてみました。

すると「森<sup>もり</sup>がへっている」理由<sup>りゆう</sup>は、私<sup>わたくし</sup>たちの生活<sup>しやう</sup>と深<sup>ふか</sup>いかかわりがあることがわかりました。

最後<sup>さいご</sup>には、「知<sup>し</sup>ることが大事<sup>だいじ</sup>」という作者<sup>さくしや</sup>のメッセージもっています。



山にどうろができると、どうぶつたちは思うように行ききができず、まちがって事故<sup>しご</sup>にあってしまうことも。そこで、ひとが、どうぶつたちのための道<sup>みち</sup>を作<sup>つく</sup>ることを考えました。

巻末<sup>かんまつ</sup>には、どうぶつの道<sup>みち</sup>のくわしい説明<sup>せつめい</sup>や、これからの問題<sup>もんだい</sup>についても書<sup>か</sup>れています。どうぶつやひとが共に生きる方法<sup>どうも</sup>を、あなたも考<sup>かんが</sup>えてみませんか？

えほん E/そらいろ/ちしき

『ひとがつくったどうぶつの道』

キム・ファン/文 堀川 理万子/絵 ほるぷ出版



## 新しく入った本

においをかいだり、顔をあらったり、うさぎのかわいいしぐさやポーズがたくさんっています。生き生きとしたうさぎたちは、今にも絵本からとび出してきそうです。

写真をとった松橋さんは、相模原市出身の生きものカメラマンです。

えほん E/ベビーチャ

『うさぎぴこん!』

松橋 利光/写真 池田 葉津美/文 アリス館



はすかしがりやのこぶたくん。なかよしえんのみんなが、うたをうたったり、かけっこしたりしていても、ひとりでもじもじしています。

ところが、おひるのじかんになって、こぶたくんがゆっくりおべんとうをたべていると、ひめいが! みんなおおさわぎです。

かみしばい C

『のんびりもじもじこぶたくん』

得田 之久/脚本 さとう あや/絵 童心社

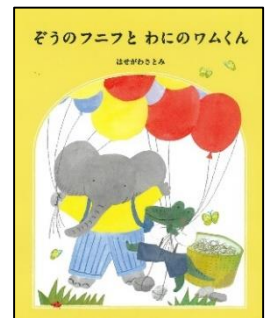
ぞうのフニフとわにのワムくんは、とってもなかよし。ある時は二人でぼうけんをして、ある時はおうちでおしゃべりをして……。

のんびりとした二人のお話が、4つ入っています。一つひとつのお話がみじかく、かわいい絵がたくさんあるので、小さいお友達にも読みやすい本です。

ものがたり J913/ハ

『ぞうのフニフとわにのワムくん』

はせがわ さとみ/作・絵 佼成出版社



「まちでよく見かけるけど、いったい何のためにあるんだろう?」そんな疑問に答える本です。信号機についている黄色い箱は何?公園にある透明の箱、中にあるのは電話みたいだけど、どうやって使うの? などなど。まちのひみつにくわしくなっちゃおう!



ちしき J36

『そうだったのか! まちのひみつ図鑑』

チャイルド本社